

3学期始業式あいさつ

おはようございます。2018 年が始まりました。2学期の終業式で、「時間を大切に使おう」、「1日1日を振り返って反省し、次に生かそう」という話をしました。冬休みに、これまでの生活を振り返って、将来の自分についてくれたことと思います。

さて、この冬休み、駅伝、ラグビー、サッカー、バレーボール、バスケットなど、皆さんと同じ高校生の全国大会がありました。中継を見て、感動することが何度もありました。試合を見て感じることは、「負けて泣き、勝っても泣く。」姿の素晴らしさです。本当に一生懸命に取り組んだあとには、何か大切なものが残るんだなあとつくづく思います。みんなにも、そんな気持ちを、高砂南高校での生活の中で、何でも良いので一度は味わって欲しいと思います。

それでは、試合でそんな気持ちを味わうためには、どのようなことが必要なのでしょう。まず、個人として、チームとしての高い目標を持つことが必要だと思います。それは思い通りにならないことが多いと思います。そんな中でも目標に向かって努力しつづけることができる。そして、周りからの偏った情報に惑わされることなく、自分の考えをしっかりと持っていることも必要だと思います。また、指導者の多くが言っているのは「素直さ」です。指導者を信じ、指導者が言うことを素直に聞ける人が伸びるのです。そして、最後に勝敗を分けるのは、仲間を信頼できることであると私は思っています。チームへの貢献として、自分を「犠牲」にすることも大切であると思います。「より得点の確率の高い選手にパスをする」「パスコースを広げるために無駄と分かっているけど走る」そんな選手がたくさんいるチームに勝利がもたらされるように思います。

ここで、私の高校時代の話をしてします。私は陸上競技部でやり投げをしていました。先輩や後輩には全国一になった優秀な選手がいます。もちろん凄い練習をしていました。でも、今日はひとりの後輩を紹介します。その後輩は、私と一緒にやり投げをしていました。彼は、誰よりも早く練習場に出てきて、グラウンド整備をしたり身体のケアをしていました。でも、試合では良い記録は出ませんでした。試合が終わると記録のことなど関係なく、またいつも通りに、みんなより早く出て練習をしています。でも、いつか続かなくなり、辞めたいと言うのではないかと考えていました。私が卒業した後、しっかりと練習したそうですが、地区大会や県大会で活躍できる記録を出すことはできませんでした。後輩は、記録にはこだわらず、自分の目標記録達成のために、精一杯頑張っていたのです。彼は、どの後輩からも尊敬される存在です。私も素晴らしい後輩で自慢できる存在です。結果が出ている選手ばかりでなく、彼のような選手が頑張っていたからこそ、下に続く年代に全国大会の優勝者が出たのだと思います。

人は、結果が出ないと恥ずかしいのではないかと、結果の良いのがすべてではないかと思いがちですが、そうでしょうか。たとえ結果が出なくても彼のように頑張る選手がいるからこそ、全体の力が上がるのです。自分なりの目標に取り組むことが最も大切に思います。皆さんの中で思ったようになっていない人がいると思いますが、彼のような気持ちで取り組んで欲しいと思います。

3年生は、進路希望を勝ち取るために、前進あるのみです。センター試験に挑戦する人はブレテストの経験を活かして、本番での頑張りを期待します。センターは受けないけど一般入試に挑戦する人も最後まで粘って、やりきってください。進路が決定した人は、「チーム 36 回生」という意識を持って、周りで頑張っている人がいるんだという意識を持って行動してください。

2年生は、高校生活で最も楽しい思い出になるであろう修学旅行がすぐそこに迫っています。思いっきり楽しみましょう。そして、その後は切り替えて、目標の実現のための努力をしましょう。あと1年なんて、すぐに来ます。

1年生は、目標が定まったでしょうか。目標が定まった時、何をやるべきかが見え、実行できるようになります。とにかく、小さなことでも良いのでやり始めてください。

頑張る皆さんを、全ての先生が応援していきます。高砂南高校のさらなる良い伝統を作っていくためにも、皆さんの挑戦を大いに期待して、今日の話が終わります。